

# 国際政治

189

## 地域研究と国際政治の間

日本国際政治学会編

序章 地域研究と国際政治の間	大島 美穂
戦後のイラクで何が対立しているか	酒井 啓子
地域の同盟構造と国際紛争	佐桑 健太郎
国際政治史研究におけるドイツ歴史学派の方法論	大原 俊一郎
主権国家体系と国際規範をめぐる地域的構想	中井 愛子
米ソ冷戦終結のプロセス	小泉 直美
金融危機後の改革と政治	神江 沙蘭
ロシアの「ユーラシア・アイデンティティ」の形成と展開	浜 由樹子
エルサレムをめぐる和平プロセスとパレスチナ人の政治	山本 健介
ベトナムの安全保障	庄司 智孝
「安全保障化」のツールとしての地域機構	古賀 慶

---

### <書評>

ロバート・D・エルドリッジ著  
『尖閣問題の起源』

井上 正也

2017年10月刊